



第5回脳PRO公開シンポジウム

脳科学

基礎研究が支える

日本発、
世界へ

2013年2月2日(土) 10時~18時

学術総合センター (東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

アンケート報告書

文部科学省 第5回 脳科学研究戦略推進プログラム 公開シンポジウム

『基礎研究が支える脳科学 ー日本発、世界へー』

アンケート調査報告書

【調査目的】

『第5回 脳プロ 公開シンポジウム』に対する参加者の印象や評価を調査し、今後のシンポジウム・アウトリーチイベント開催の参考とするため。

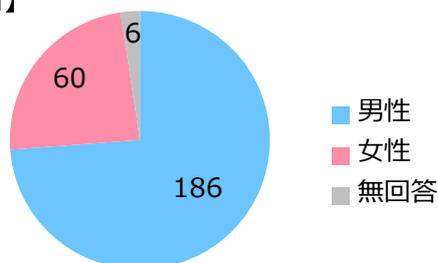
【アンケート対象者】

シンポジウム参加者449名にアンケートを配布。うち252名から回答を得た。（回収率56.1%）

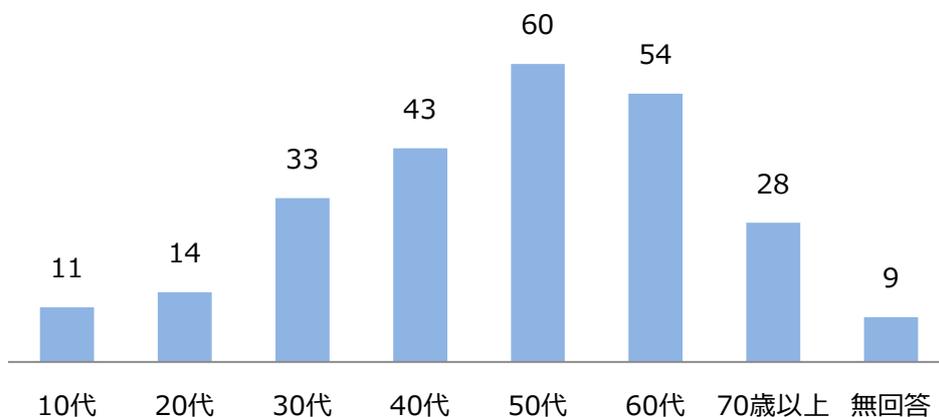
※当日会場で回収したものを対象としています。

（単位:人）

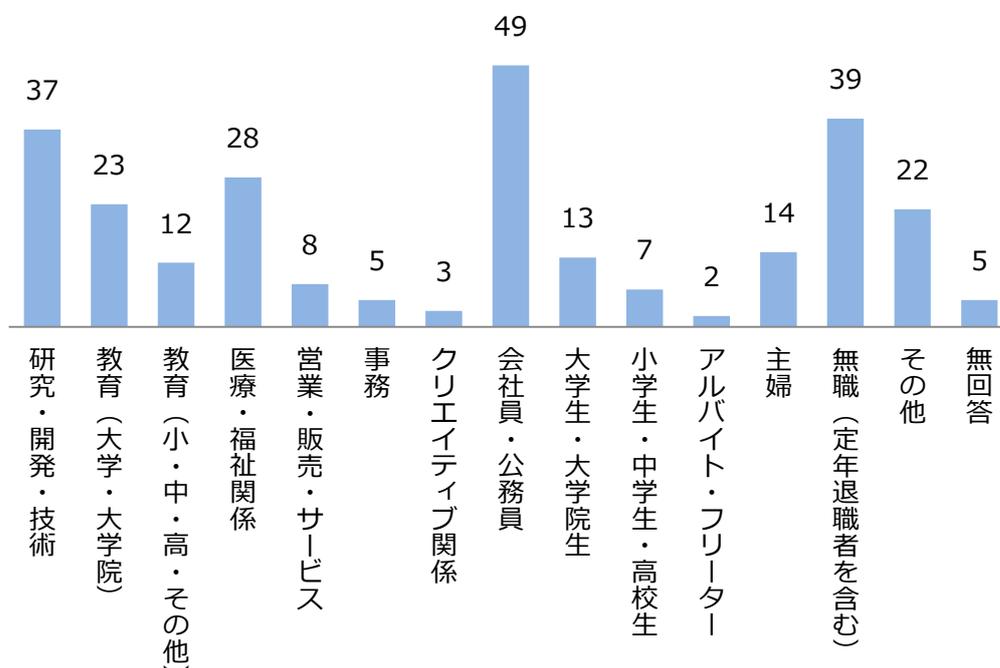
【性別】



【年齢】



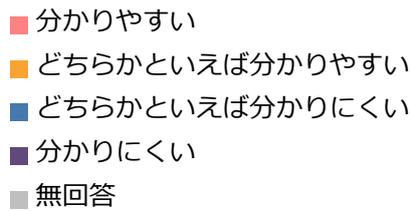
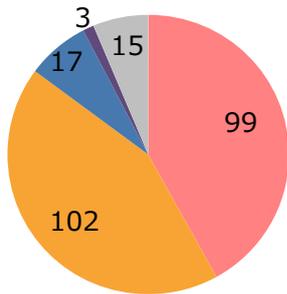
【職業】



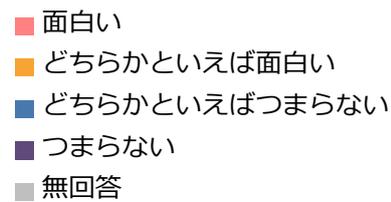
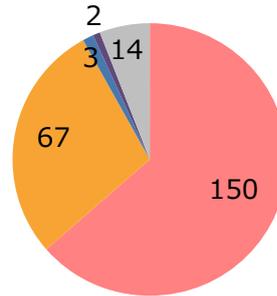
【アンケート結果】

1. 講演の内容について（講演参加者のみ回答）

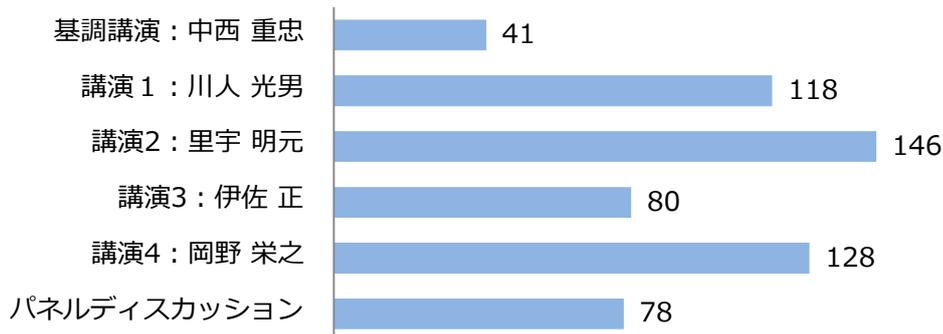
a. 分かりやすかったですか？



b. 面白かったですか？



c. 特に印象に残ったプログラムはありましたか？（複数回答可）



基調講演：「基礎研究が支える脳科学ー日本発、世界へー」 中西 重忠

講演1：「脳の機能を明らかにして、失われた機能を代償し、回復する」 川人 光男

講演2：「BMIがリハビリテーションに新たな可能性を拓く」 里宇 明元

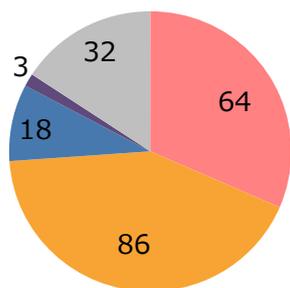
講演3：「ウイルスベクターを用いた霊長類の神経回路機能解析」 伊佐 正

講演4：「遺伝子改変霊長類を用いた脳研究の最前線」 岡野 栄之

パネルディスカッション：「日本の脳科学は世界を変えるか」

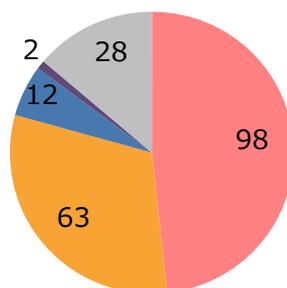
2. 展示の内容について（展示参加者のみ回答）

a. 分かりやすかったですか？



- 分かりやすい
- どちらかといえば分かりやすい
- どちらかといえば分かりにくい
- 分かりにくい
- 無回答

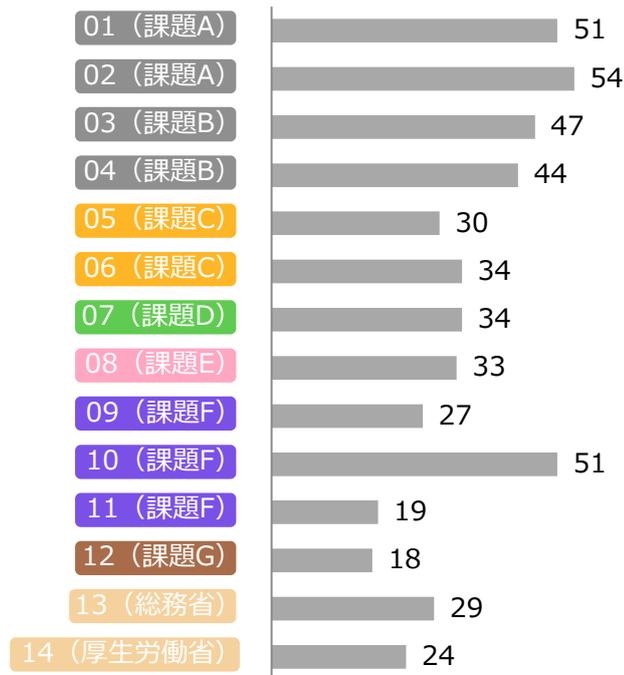
b. 興味深かったですか？



- 面白い
- どちらかといえば面白い
- どちらかといえばつまらない
- つまらない
- 無回答

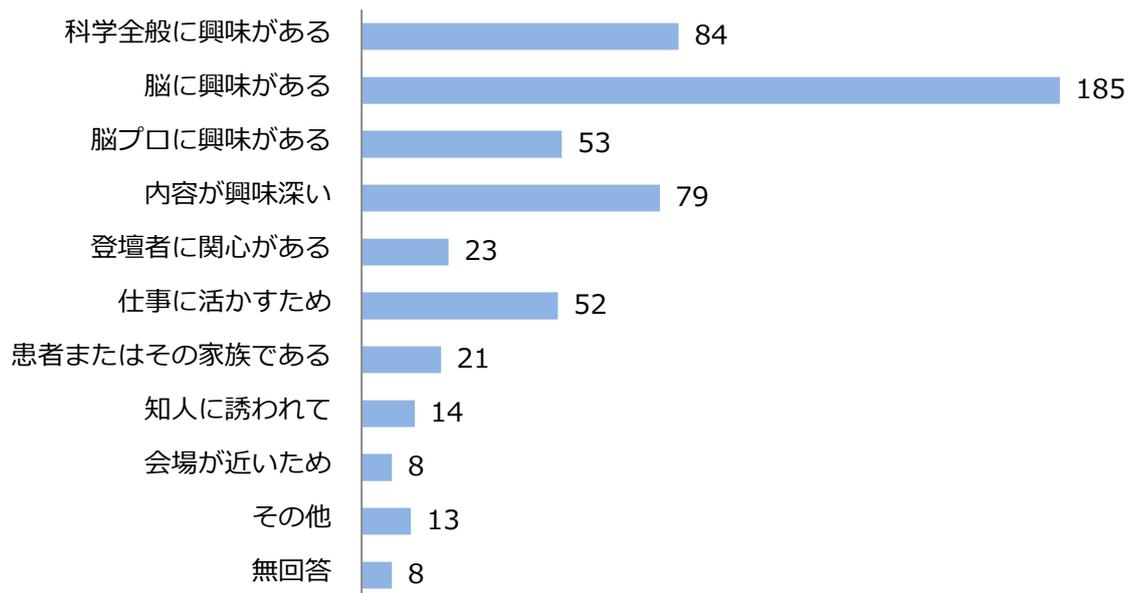
(次頁につづく)

c. 特に印象に残った展示はありますか？（複数回答可）

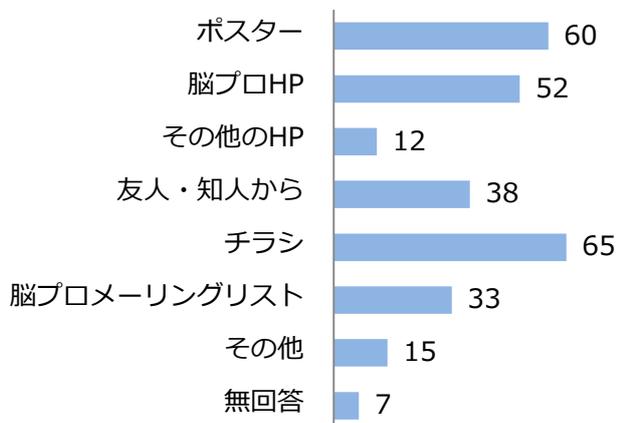


01 課題 A	リハビリテーション応用を目指した外骨格ロボット ～脳とロボットをつなぐ～ 森本 淳 (株)国際電気通信基礎技術研究所 脳情報研究所
02 課題 A	皮質脳波を用いたブレイン・マシン・インターフェースの臨床応用 吉峰 俊樹 大阪大学大学院 医学系研究科
03 課題 B	ヒトにおける脳内植込み電極と体内埋設刺激デバイスを用いたBMIの開発 片山 容一 日本大学 医学部
04 課題 B	高性能電極とCMOS技術を用いた、歩行と読書が可能な次世代人工網膜 不二門 尚 大阪大学大学院 医学系研究科 / 太田 淳 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科
05 課題 C	遺伝子改変マーマーセットが生まれるまで 佐々木 えりか 実験動物中央研究所
06 課題 C	霊長類で脳の特定の神経回路を“除去”する遺伝子導入法を開発 高田 昌彦 京都大学 霊長類研究所
07 課題 D	遺伝子から見る精神疾患 吉川 武男 理化学研究所 脳科学総合研究センター
08 課題 E	新しく開発した小脳機能評価法 水澤 英洋 東京医科歯科大学大学院 医学総合研究科
09 課題 F	広汎性発達障害の早期診断システムの開発 東田 陽博 金沢大学 子どものこころの発達研究センター
10 課題 F	ニューロイメージングで抑うつ気分と意欲の低下を可視化する 山崎 成人 広島大学大学院 医薬健康科学研究院
11 課題 F	前頭側頭葉変性症 (FTLD) の病態解明と治療法開発に向けて 祖父江 元 名古屋大学大学院 医学系研究科
12 課題 G	脳科学研究を支える情報基盤の構築:リン酸化プロテオミクスデータベース 貝淵 弘三 名古屋大学大学院 医学系研究科 / 吉本 潤一郎 沖縄科学技術大学院大学 / 臼井 支朗 理化学研究所 脳科学総合研究センター
13 総務省	日常生活支援を目指すネットワーク型ブレイン・マシン・インターフェース (株)国際電気通信基礎技術研究所 石井 佳
14 厚生労働省	障害者自立支援のためのBMI型環境制御システム 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 神作 豊司

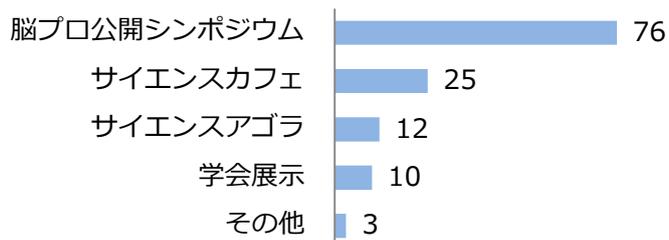
3. 本ワークショップに参加された動機は？（複数回答可）



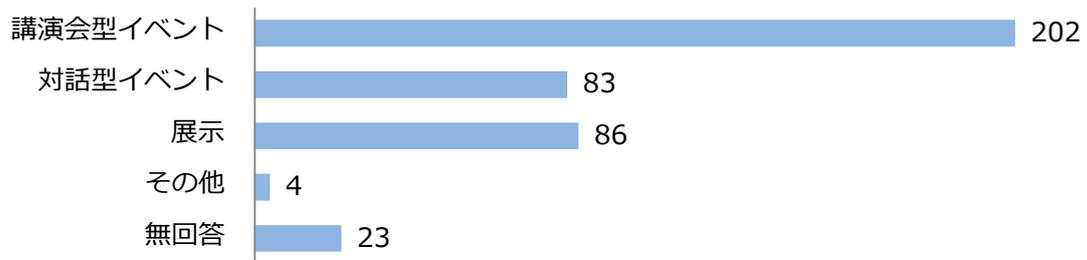
4. 本ワークショップをどちらでお知りになりましたか？（複数回答可）



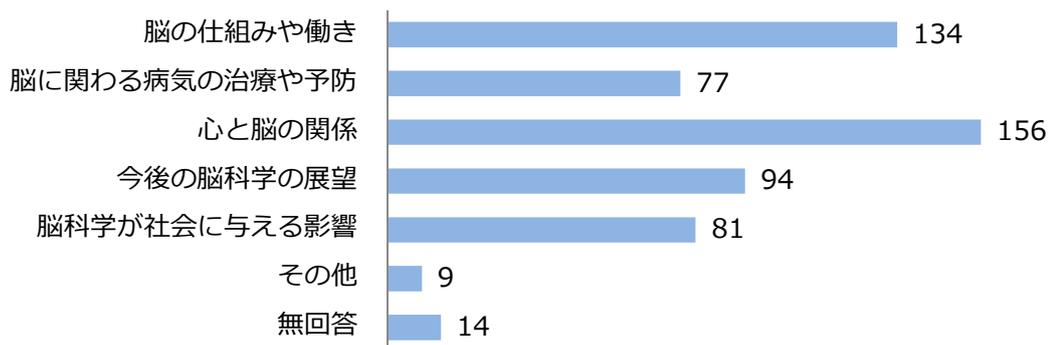
5. これまでに参加された脳プロのイベントは？（複数回答可）



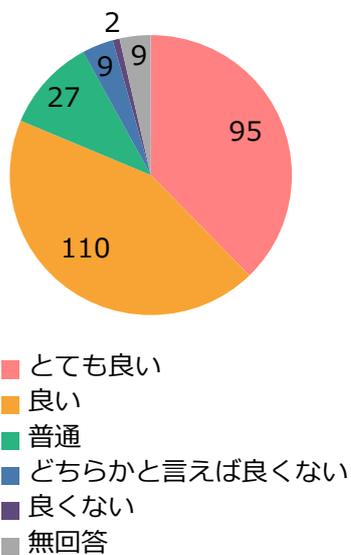
6. 今後、どのようなイベントに参加してみたいですか？（複数回答可）



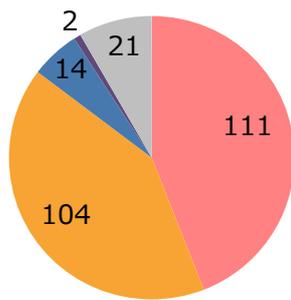
7. 今後、どのような内容の講演をきいてみたいですか？（複数回答可）



8. 会場はいかがでしたか？（立地・広さ・設備・雰囲気）



9. 当日配布したプログラム（抄録）は分かりやすかったですか？



- 分かりやすい
- どちらかと言えば分かりやすい
- どちらかと言えば分かりにくい
- 分かりにくい
- 無回答

(以上)



※第5回 脳プロ公開シンポジウムへの御参加ありがとうございました。皆様の御意見を今後の脳プロの活動の参考にさせていただくため、以下のアンケートに御協力をお願いします。御記入後は回収ボックスに入れていただくか、お近くのスタッフまでお渡しください。集計結果は脳プロHPにて公表させていただきます。なお、アンケート結果は本事業に関連する目的以外には使用いたしません。

1. シンポジウムの内容について シンポジウム不参加

a. 分かりやすかったですか？

1. 分かりやすい 2. どちらかと言えば分かりやすい 3. どちらかと言えば分かりにくい 4. 分かりにくい

b. 面白かったですか？

1. 面白い 2. どちらかと言えば面白い 3. どちらかと言えばつまらない 4. つまらない

c. 特に印象に残ったプログラムはありましたか？（複数回答可）

1. 「基礎研究が支える脳科学 ー日本発、世界へー」中西 重忠
2. 「脳の機能を明らかにして、失われた機能を代償し、回復する」川人 光男
3. 「BMIがリハビリテーションに新たな可能性を拓く」里宇 明元
4. 「ウイルスベクターを用いた霊長類の神経回路機能解析」伊佐 正
5. 「遺伝子改変霊長類を用いた脳研究の最前線」岡野 栄之
6. パネルディスカッション「日本の脳科学は世界を変えるか」

2. 展示の内容について 展示不参加

a. 分かりやすかったですか？

1. 分かりやすい 2. どちらかと言えば分かりやすい 3. どちらかと言えば分かりにくい 4. 分かりにくい

b. 面白かったですか？

1. 面白い 2. どちらかと言えば面白い 3. どちらかと言えばつまらない 4. つまらない

c. 特に印象に残った展示はありますか？（複数回答可）

01. 「リハビリテーション応用を目指した外骨格ロボット～脳とロボットをつなぐ～」森本 淳
02. 「皮質脳波を用いたブレイン・マシン・インターフェースの臨床応用」吉峰 俊樹
03. 「ヒトにおける脳内植込み電極と体内埋設刺激デバイスを用いたBMIの開発」片山 容一
04. 「高性能電極とCMOS技術を用いた、歩行と読書が可能な次世代人工網膜」不二門 尚 / 太田 淳
05. 「遺伝子改変マーマーセットが生まれるまで」佐々木 えりか
06. 「霊長類で脳の特定の神経回路を“除去”する遺伝子導入法を開発」高田 昌彦
07. 「遺伝子から見る精神疾患」吉川 武男
08. 「新しく開発した小脳機能評価法」水澤 英洋
09. 「広汎性発達障害の早期診断システムの開発」東田 陽博
10. 「ニューロイメージングで抑うつ気分と意欲の低下を可視化する」山脇 成人
11. 「前頭側頭葉変性症（FTLD）の病態解明と治療法開発に向けて」祖父江 元
12. 「脳科学研究を支える情報基盤の構築：リン酸化プロテオミクスデータベース」貝淵 弘三 / 吉本 潤一郎 / 臼井 支朗
13. 「日常生活支援を目指すネットワーク型ブレイン・マシン・インターフェース」総務省
14. 「障害者自立支援のためのBMI型環境制御システム」厚生労働省

3. シンポジウムに参加された動機は？（複数回答可）

1. 科学全般に興味がある 2. 脳に興味がある 3. 脳プロに興味がある 4. 内容が興味深い（BMI・モデル動物）
5. 登壇者に関心がある（ ） 6. 仕事に活かすため 7. 患者またはその家族である
8. 知人に誘われて 9. 会場が近いため 10. その他（ ）

4. 本シンポジウムをどちらでお知りになりましたか？（複数回答可）

1. ポスター 2. 脳プロHP 3. その他のHP（ ） 4. 友人・知人から
5. チラシ 6. 脳プロメーリングリスト 7. その他（ ）

裏面に続きます。

